

御殿場

2011
No.192号

1

十字の園

(題字 鈴木生二)

発行／総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 宮島克利
〒412-0023 御殿場市深沢1465の1
TEL 0550-83-1999
FAX 0550-82-5189
<http://www.jyuji.ne.jp>
e-mail ; info@g.jyuji.or.jp
印刷／岳麓印刷株式会社

(聖句) 喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



2011(平成23)年 新年祝賀会

イルド

理事長 平井 章

先日、「福祉の仕事を目指すあなたに、福祉には夢がある」と題してお話をしました。福祉が3K(きつい・きたない・給料安い)と称されましたが、最近の3Kは(感謝・感動・感激)というようです。私は「福祉はロマン(夢・幻)である」とよく話します。

セールスマンから福祉人になって三五年、十字の園で素晴らしい時を刻むことができました。福祉には「夢の種」「幸せの種」「笑顔の種」があると思います。人と関わる中に種を見つけます。地域と関わる中に種を見つけます。生活の中に種を見つけます。その種を植えると、芽が出て、花が咲きます。「夢の花」、「幸せの花」、「笑顔の花」が咲きます。

夢や幻に向かって行動すれば、福祉の夢は実現します。福祉の幻は現実になります。神のみ心として叶うのです。『わたしは植え、アポロは水を注ぐ、しかし、成長させてくださったのは神です。』(イコリント)

抱負③ 挑戦 (チャレンジ)

御殿場十字の園 施設長 宮島 克利

特養に入所される経緯は様々ありますが、期待されることの殆は「ここで最後まで安心して暮らし続けたい」ということであります。その意味は単に家庭に替わって、家庭に近い暮らしの実現のための支援を行うことにとどまらず、新たな生活場所として、その人らしい暮らしを築くことでもあります。その延長線上には、終の棲家として「看取りケア」も必要であります。いわば、特養はいつまでも安心して生活できる「新たな住まい」としての役割があります。

一方、同時に特養は施設サービスであり、常在宅復帰の可能性についても制度上、念頭に置いて支援することが求められております。介護保険法には「指定介護老人福祉施設は、施設サービス計画に基づき、可能な限り、居室における生活への復帰を念頭に

置いて…」とあります。ここにいつまでも安心して生活できる「新たな住まい」としての役割と「在宅復帰の施設」としての役割との異なった二つの期待があります。

しかし、実際は、「在宅復帰の施設」としての機能については、殆ど果たせていないのが現状であります。当施設では介護保険制度が始まってから一〇年間で一六四人の方が施設を退所されました。その内病院に入院され、そのまま退所された方は三〇人程おりましたが、八割近くの殆どの方は当施設で最後まで関わらせて頂くことができました。

しかし、在宅復帰された方は制度開始直後に一名いらっしゃっただけであります。在宅復帰が進まない理由として、退所先の受け皿が乏しいということがあります。ここで言う「在宅」とは、単に元の家に戻ることや家族と同居され

「送迎の奉仕」

マルコ福音書二章一〜十二節

御殿場教会牧師 中島善子

イエス様の所に体が不自由な人が寝たまま四人の人に運ばれて来ました。イエス様が多くの人を癒していることを聞いたからです。だから何とかこの人も癒してもらおうと四人で力を合わせ、イエス様の所に病人を運んで来ました。

でもイエス様がいる家には人が一杯で入れません。すると四人は家の屋根を破り、病人を寝床ごと吊り下ろして、イエス様の前に置きました。どうしてもイエス様に会わせなかったから、イエス様の助けが欲しかったから、後先のことを考えず、他人の家の屋根を壊してしまいました。非常識です。

でもイエス様は四人を叱りません。叱るところかイエス様は四人の信仰を見て、病人に「子よ、あなたの罪は赦される」と宣言しました。でもなぜイエス様は「病気を癒す」と言わなかったのでしょうか。

イエス様の目は、寝たきりになっている人の中で、一番病んでいる所を見ておられました。

その人の中にある罪です。でも罪は全ての人にある最も重い病です。神様を無視して自分中心に生きてしまう重い病、それが罪です。イエス様はその人の最も重い病・罪を最初に癒してくださったのです。

神様の御子であるイエス様が与えてくださる罪の赦しは、本物です。最後の審判でも神様の前で、「あなたの罪は赦されている。あなたは清い」と言っていただけです。

私達は年を重ねるほど罪の負い目が多くなります。「あの時ああすれば良かった。あんなことを言わなければ良かった」と悔やみますが、どんなに悔やんでも、自分の力ではどうすることも出来ません。

ただイエス様だけが、私達の罪の負い目を十字架の死と引き換えに完全に清算して、赦すことができます。寝たきりの人はイエス様から、まず罪という大病をきれいに癒していただきました。その後で肉体の病も癒していただきました。

この人が罪の大病も肉体の病もイエス様によって癒されたのは、四人の人がイエス様の力を信じて、この人をイエス様の所まで運んできたからです。「イエス様は必ず善いことをしてくださる」と四人がイエス様の力に信頼して、行動を起こしたからです。

施設長の宮島さんや日直の職員の方の送迎のご奉仕で、十字の園の利用者の方が、御殿場教会の礼拝に來られます。日曜の朝、仕事でもないのに出かけるのは大変です。しかし一人でも多くの利用者の方がイエス様とお会いして、全ての負い目を取り除かれ、神様の目に「罪のない清い者」とされるために、送迎のご奉仕をされていることを、イエス様はご覧になり、喜んでおられます。

私達の地上での時間は限られています。一人でも多くの人がイエス様とお会いできるように、そしてイエス様から全ての罪の負い目を取り除かれて、神様の前に立つ日に備えられるように祈り、行動する人は、神様から祝福された人です。

(十月二十一日の礼拝から)

普通というだけの意味ではなく、普通の貸家や高齢者専用賃貸住宅、有料老人ホームやケアハウスなどを含めたものであります。その他の理由として、ご家族や私達職員の意識があまりなかったということがあるかと思えます。何がなんでも「在宅」での生活がよく、それを目指すべきだという価値観、考えではありません。本人やご家族が望んでいる中では、可能な限り施設で生活し続けられるよう支援すべきであり、それを保証することも、安心した暮らしには必要と思っております。しかし、「新たな住まい」としての捉え方だけしなければ、目指す自立支援も曖昧になってしまい、その人らしい生活の実現にも限界があるのでないでしょうか。当施設を利用されている方は、六十歳代前半の方から百歳を超える方までいらつしやり、その年齢差は四十歳ほどあります。また、出来ることも希望も一人一人様々であります。なかには、施設から在宅への流れを築くことの必要性を感じます。そ

して、そのことが結果的に在宅支援の強化にもつながるものと考えております。

私達は、その他にも、当たり前という認識で意識化していなかったり、大きな壁の前で何もしないでいることが、実際にいろいろとあります。あるところでマザーテレサの名言として「神様は私たちに成功してほしいなんて思っておりません。ただ、挑戦することを望んでいるだけよ。」と紹介されておりました。私達は、ただ、当たり前と思っていること、困難なことを一つ一つ見つめ直し、一人一人、その人らしいより豊かな暮らしの実現のため、精一杯挑戦して参りたいと思えます。



感染症について

御殿場十字の園診療所 杉山 潔

守って防いでインフルエンザ

今年もそろそろインフルエンザの季節がやってきます。すでに、インフルエンザの発生も報告されています。昨シーズンは、新型インフルエンザの流行があり、各家庭、職場において、感染に注意を払われたのではないのでしょうか。そこで今回は、インフルエンザについて簡単に説明したいと思います。

熱、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの全身の症状が強く、重症になることがあるのも特徴です。特に、高齢者や心臓などに慢性の病気を持つ方は重症化しやすく、十分な注意が必要です。

※インフルエンザの予防について

インフルエンザワクチンは、十月一日より開始されています。今年のワクチンは、新型インフルエンザにも対応していますので早めに接種しましょう。

季節性インフルエンザワクチン接種により、六十四パーセントは予防できたという報告がありました。新型インフルエンザワクチンの効果についてデータは限られています。が、予防効果とインフルエンザにかかっても重症化を防ぐことができます。

※インフルエンザが流行した

ら、人混みや繁華街への外出を控える・外出時にはマスクを利用・室内では、加湿器などを使用し適度な湿度に・十分な休息、バランスの良い食事に心がけていただき、うがい、手洗いの励行・咳エチケットなどが大切になります。

※咳エチケットについて

他の人に感染を拡大させないためにマスクをするよう心がけましょう。咳、くしゃみの際は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ、一米ートル以上はなれます。鼻水、たんなどのついたティッシュをすぐに蓋付きのゴミ箱に捨てます。咳をしている人にマスクの着用を促しましょう。

お忙しい毎日をお過ごしのことと思いますが、インフルエンザ流行に備え、体調に不安のある時は、早めの休息・受診をしていただき体調管理をお願いしたいと思います。

ドライブ外出

ひまわり



ひまわりあじさいドライブ外出
紅葉には少し早かったのですが竹林を散歩して、どんぐりを拾ったりしました。そして「とらや工房」へお茶にも行ってきました。あんみつの中には「うさぎ」と「月」が入っていて秋を楽しむことが出来ました。

すみれ



十月八日
ドライブ外出で猿回しを見に行きました。最前列で、猿に触れそうなほど近くで行われる芸に興奮しつつも、皆さん楽しんでおられました。

コスモス



十一月十七日
絶望→絶景：絶好調へ
紅葉祭りが行われていた山中湖へ、コスモスにとっては三年ぶりの一日外出でした。行きの車の中で、何故か絶望している人が一名…。しかし真つ赤に彩られた紅葉の絶景を目にし、気分は上向きに…。さらにデニースで絶好調に(笑)紅葉だけでなく、食欲の秋も堪能した一日でした。

ちどり

十月二日 沼津港
とても天気がよく、秋晴れの中沼津港へ行ききました。皆さん刺身定食や海鮮丼をお腹いっぱい食べて大満足でした。時間の関係で行けませんでしたが、次はゆつくり海でも眺めたいねと話されていました。

カナリア



山の木々が色づき始め、秋めいてきた十月二十七日、私たちは箱根芦ノ湖の遊覧船に乗ってきました。清しい秋空の下、少し風は冷たかったのですが、湖上から見る箱根の山々の紅葉は陸から見るとはまた趣が違いました。のんびりと船に揺られながら、昔、奥さんで行った新婚旅行を思い出した…？

ひばり

スシロー・沼津港・SEIYU
今回は、ある利用者さんへの『皆と出掛けたい』の声に応えての外出です。移動・乗車は大変でしたが、車中や外出先は笑いがあり、満腹感ある思い出の一日でした。外出の度に思うのですが、もう少し公共の場が車椅子利用者のために配慮して下さると介護者、お年寄りも出掛けやすくなるのですが。

ケアハウス 御殿場アドナイ館

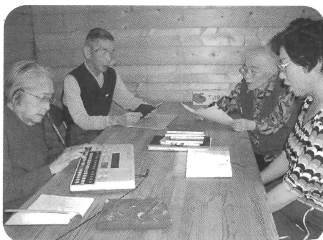
「詩吟の会」が行なわれる。

十月十三日(水)の午後、久しぶりに「詩吟の会」がケアハウス敷地内のログハウスで行なわれました。天洲流の平野禮子師範(入居者)より詩吟の「いろは」を伺いました。

発声練習はアーアーアーアーで始まる。

詩吟はドレミファソラシドのレソが抜けます。漢詩に節を付けて吟じるのが詩吟です。詩吟は日本で生まれました。詩は元々中国からやってきたものです。四行の詩を絶句と言って主に絶句を行なっています(コンクールでは二分以内です)。八行の詩を律詩といい、その間に六行の詩も有ります。今日のレッスンは「金州城下の作」乃木希典です。詩吟専用コンダクターの演奏で始めました。

(田内)



ビューティーボランティアです

資生堂（村山・高橋・山本・古谷）

「いくつになっても綺麗でいたい！」という女心。メイクは、外見を美しくするだけでなく心身をも健やかにします。まさしくリハビリメイクは心のリハビリメイクにまで繋がっていくものだと痛切に感じます。

最初は「今更化粧なんて：こんな皺だらけのおばあちゃんなんて：」と言われますが、鏡を見ながら真剣にファンデーションを塗って、眉を描き、口紅をさし、一つ一つ仕上がる御自分の顔を見て、最後には「何十年振りに化粧しましたよ。また嫁に行かなきゃ：」と言葉の花が咲き、満面の笑顔になります。中には嬉しくて涙を流す方、「ありがとう、ありがとう、また来てね」と見えなくなるまで手を振ってくれる方。逆に私達の方が「ありがとう、ありがとう」と言いたい思いと、感謝



感謝でいっぱいです。目には見えない「尊い、大切なもの」を沢山いただいています。また利用者の方から逆に元気をもらっています。十字の園は『リハビリメイクの意図』をとてもよく理解、協力していただき頭の下がる思いです。なのでしこ会の方、スタッフの方々本当にありがとうございます。これからも利用者の方々から沢山の心をいただき、リハビリメイクセミナー頑張ります。

創立五〇周年記念十字の園大会を終えて

介護副主任 高木直也

二〇一〇年十月二十八・二十九日、浜松において創立五〇周年記念十字の園大会が開かれました。今年度のテーマは創立の精神から新たな福祉に挑戦というもので、法人各施設よりその施設の歴史、そして理念の継承について代表者が発表するというものでありました。

私たち御殿場十字の園も数ヶ月前から十字の園大会委員会を立ち上げ、御殿場十字の園の歴史やこの施設の為に大きく関わった方を調べたり、理念について話し合いました。この施設が創設された経緯を紐解いていく中で、当時この地域に特別養護老人ホームがなく必要とされていた事。そのことを痛感した方が初代理事長鈴木生二氏へ、老人ホームの建設を、と熱心に進めた事。鈴木生二氏が御殿場教会へ老人ホーム建設の話をした事。教会員が祈りつつ、設立準備委員会を立ち上げた事。

地域の多くの方々の多大な寄付や協力があった建設され開園された事など、初めて知ることばかりで驚きもありました。鈴木生二氏も一家あげて御殿場へ引っ越して来られ、初代園長として働かれたとのことです。また、ボランティアや地域の協力なくしては今日まで来れなかった事にも感動を受け、あらためて感謝の気持ちがいきました。これらの事をパワーポイントでまとめ、大会前に各職員にも発表を聞いてもらいましたが、多くの職員が「私たちの施設にそんな歴史があったとは知らなかった。」とても感動を覚えた。」と感想を言っておられました。

私たち御殿場十字の園も来年四〇周年を迎えます。初代ドクターの林富美子先生の言葉に「我々の仕事は人生最後の舞台の幕引である。一人一人の人生に於いて、観客の充分なる拍手とスポットライト

を受けた後に、我々は静かにその人の舞台の幕を引いていくのです。」とありますが、今職員として働いている私達も、一人一人の人生の中に光があり、最後まで輝くことを認め、その為のお手伝いを教会・地域・ボランティアと共に続けていきたいと思えます。歴史にあぐらをかくことなく、現在も歴史の中にあることをおぼえつつ…。



献金下さった方々

敬称は略させていただきます

9月分

富士社会教育センター、川崎正義、米山武義、渡邊春野、岩瀬年子、山本淳子、山崎よし子、小宮山光文、小宮山亨、関根美代子、日本基督教団清水教会、高村靖之、小野茂、小松ユキ子、伊倉初男、勝又盛次

10月分

松永美知子、丸木進、宮内みゆき、加藤喜美子、中央区鶴亀会

協力ボランティア

9月

みくりや友の会、シヤマム池谷、高橋文夫、杉山和子、レインボーハート、厚生年金

御殿場十字の園へのご寄付

9月分 16件 254,000円

10月分 5件 23,000円

4～10月分 累計
59件 772,483円

ご献金、ご献品心より感謝申し上げます。

郵便振替口座

口座番号 00870-9-190162

口座名称

社会福祉法人十字の園
御殿場十字の園

ご連絡下されば振替用紙をお送りいたします。

10月

婦人部、ビューティー山田、木洩れ日朗読の会、隆生会書道、加藤正代、土屋明子、玉穂婦人会、AKI美容室、中里京子、御殿場市赤十字奉仕団、なでしこ会、市野はつ、山口順代、(株)コスメロール、琴音会、高村恵子、勝又静江、芹澤菊枝、鈴の会、御殿場教会、小池タエ、天野まさ子、市婦連福祉グループ、不二聖心母の会、黄檗弘風流中川門、東山婦人会、鈴の会、不二聖心女子学院中学生、杉山美紗子、関根保子、貢宝会、スイカ・ひまわり、ふじかわ健、太極拳カツマタ、金子富士雄他二名、富士社会教育センター、菅原幸和、さわやか部会、高根婦人会OB会、高根中学生

11月

みくりや友の会、高橋文夫、杉山和子、レインボーハート、厚生年金婦人会、ビューティー山田、木洩れ日朗読の会、隆生会書道、加藤正代、中垣内紀子、土屋明子、玉穂婦人会、沼津しょうえい幼稚園、AKI美容室、中里京子、勝又町子、御殿場市赤十字奉仕団、なでしこ会、市野はつ、山口順代、中富雅代、(株)コスメロール、琴音会、高

村恵子、芹澤菊枝、鈴の会、御殿場教会、小池タエ、天野まさ子、市婦連福祉グループ、原里婦人会長OB会、東山婦人会、鈴の会、神保久美子、高橋弘子、渡邊ひろ子、太極拳カツマタ、不二聖心女子学院中学生、関根保子、太極拳カツマタ、富士社会教育センター、さわやか部会、高根婦人会OB会、高根小学生

あとがき

新しい年を迎えることが出来ました。毎年、一年の長さが短くなっていくように感じられます。「人が感じる時間の長さは、自らの年齢に反比例する」というジャンネの法則によれば、五十歳の一年の長さは人生の五十分の一、五歳の人間の一年は人生の五分の一の長さとなります。長短はあれど、一年の中に楽しい・嬉しいが散りばめられて笑っていられる時が多いほど、人は幸せです。今年も多くの幸がありますように。

(やまもと)

ボランティアさん募集

話し相手ボランティアさんを募集しています。

施設に入居しているお年寄りの話し相手ボランティアを募集しています。
TEL 0550-83-1999まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

